



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2015年(平成27年)11月20日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

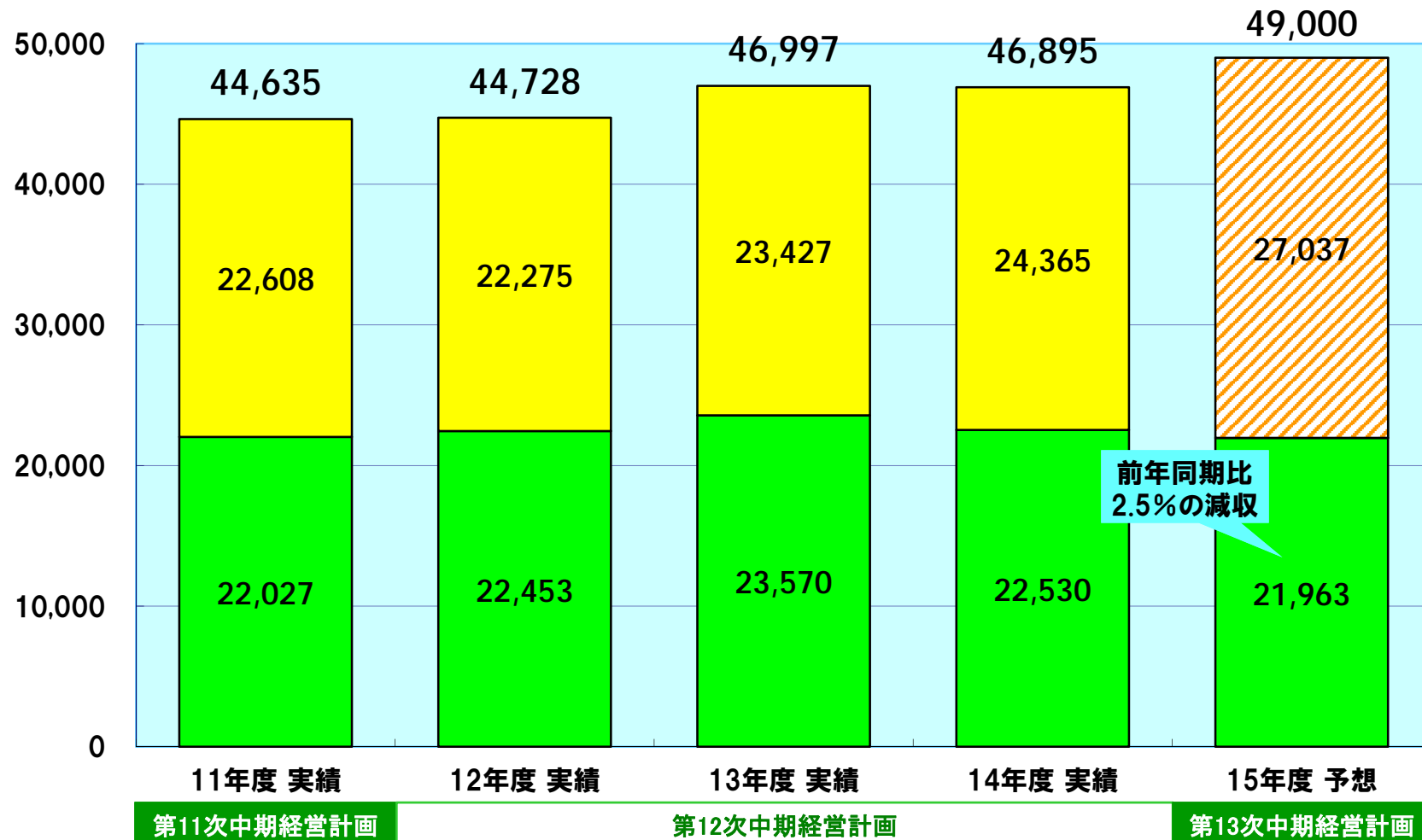
IV 2016年(平成28年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1

連結売上高

(単位:百万円)

下期 売上高
上期 売上高



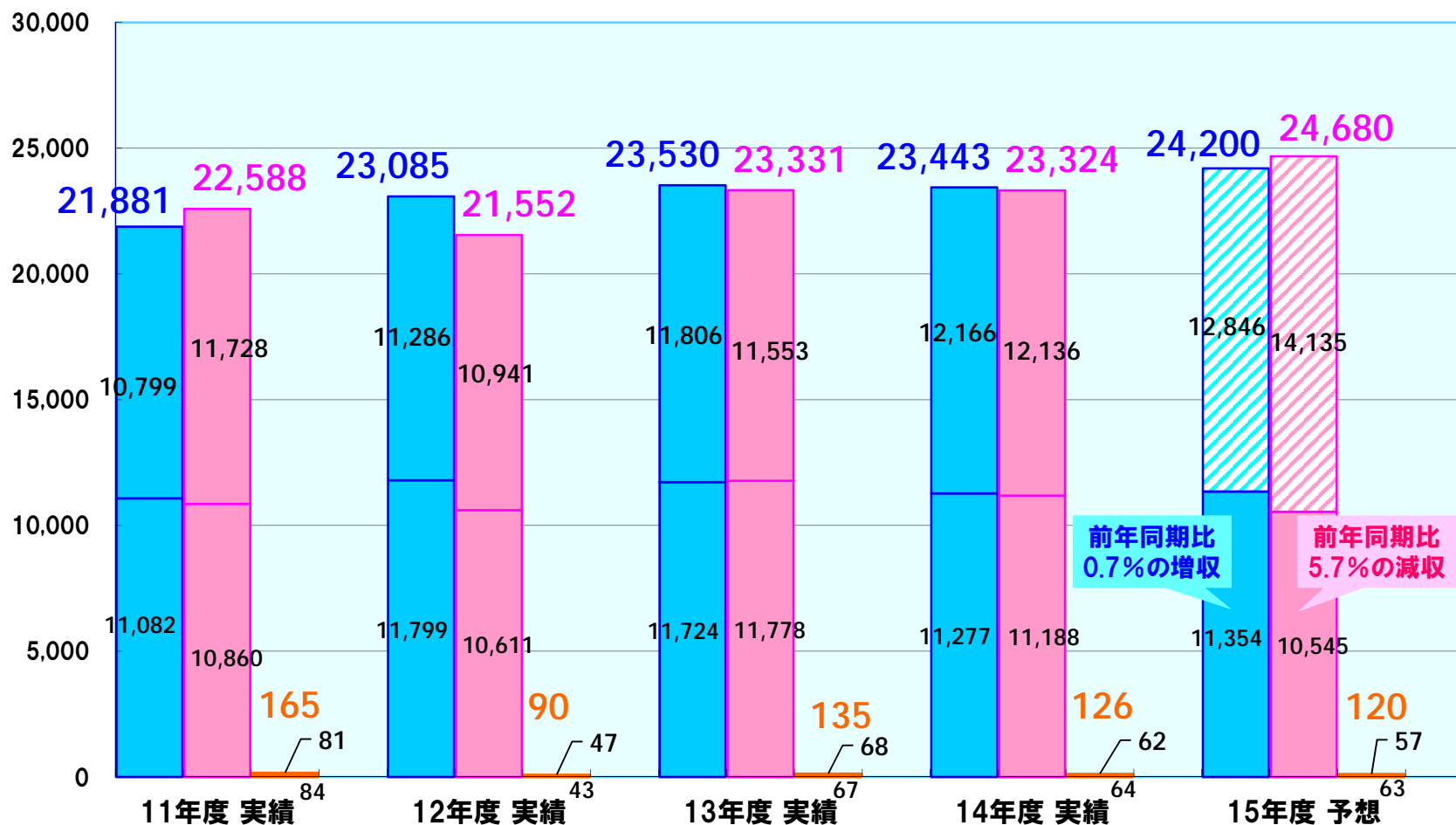
※換算レート ・15年度 1中国元=19円、1USドル=121円

2

セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円)

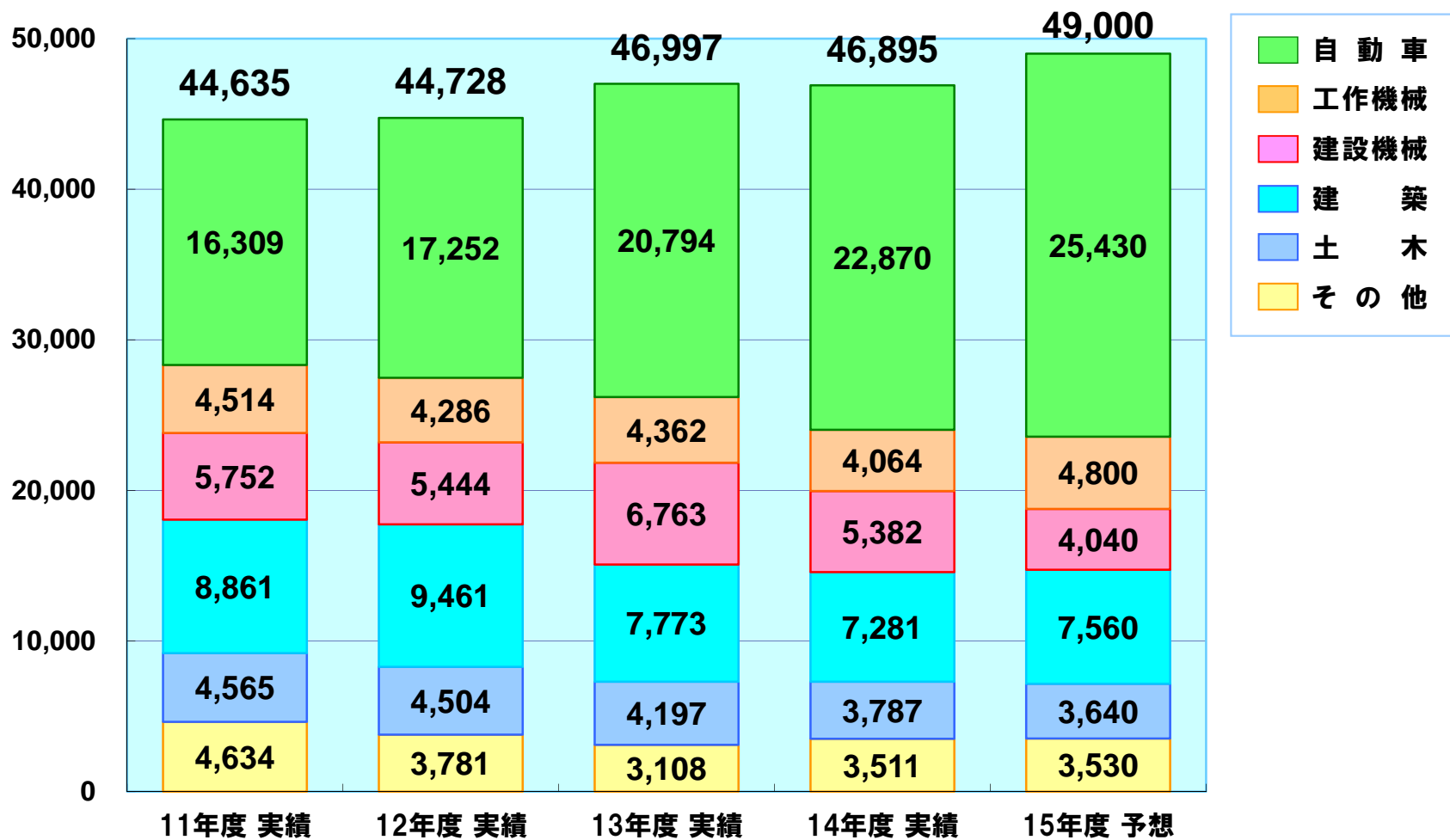
■ 製品事業部関連
■ IH事業部関連
■ その他



3

業界別売上高

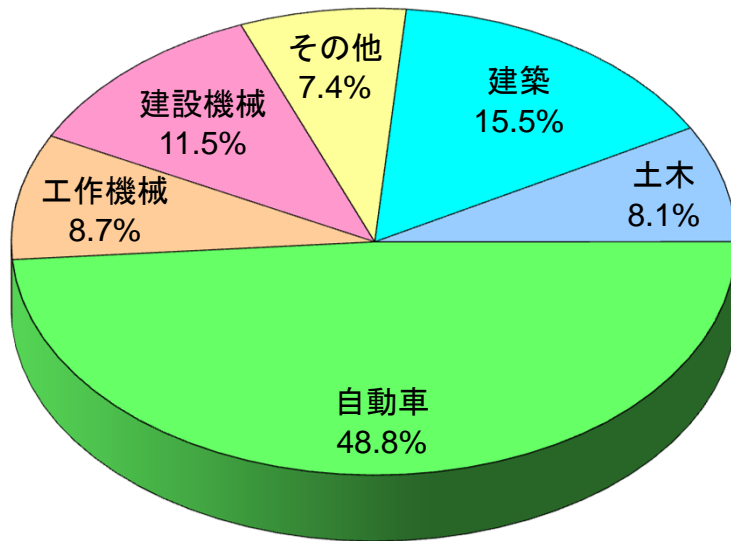
(単位:百万円)



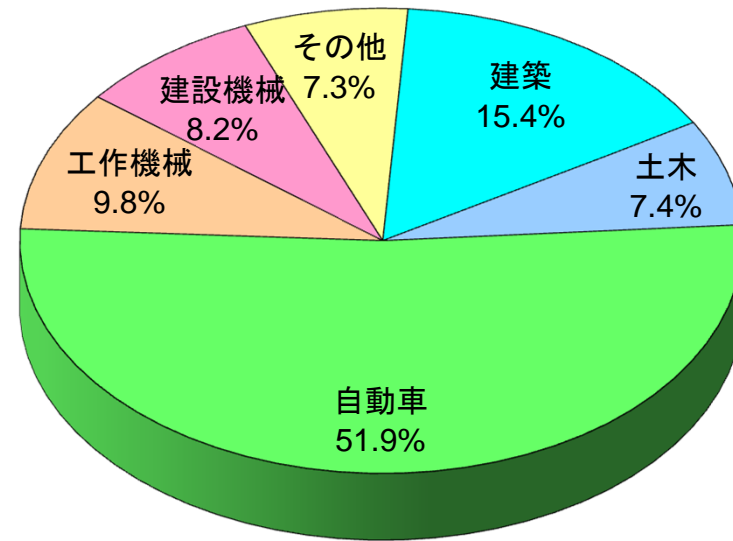
4

業界別売上高比率

2014年度実績



2015年度予想

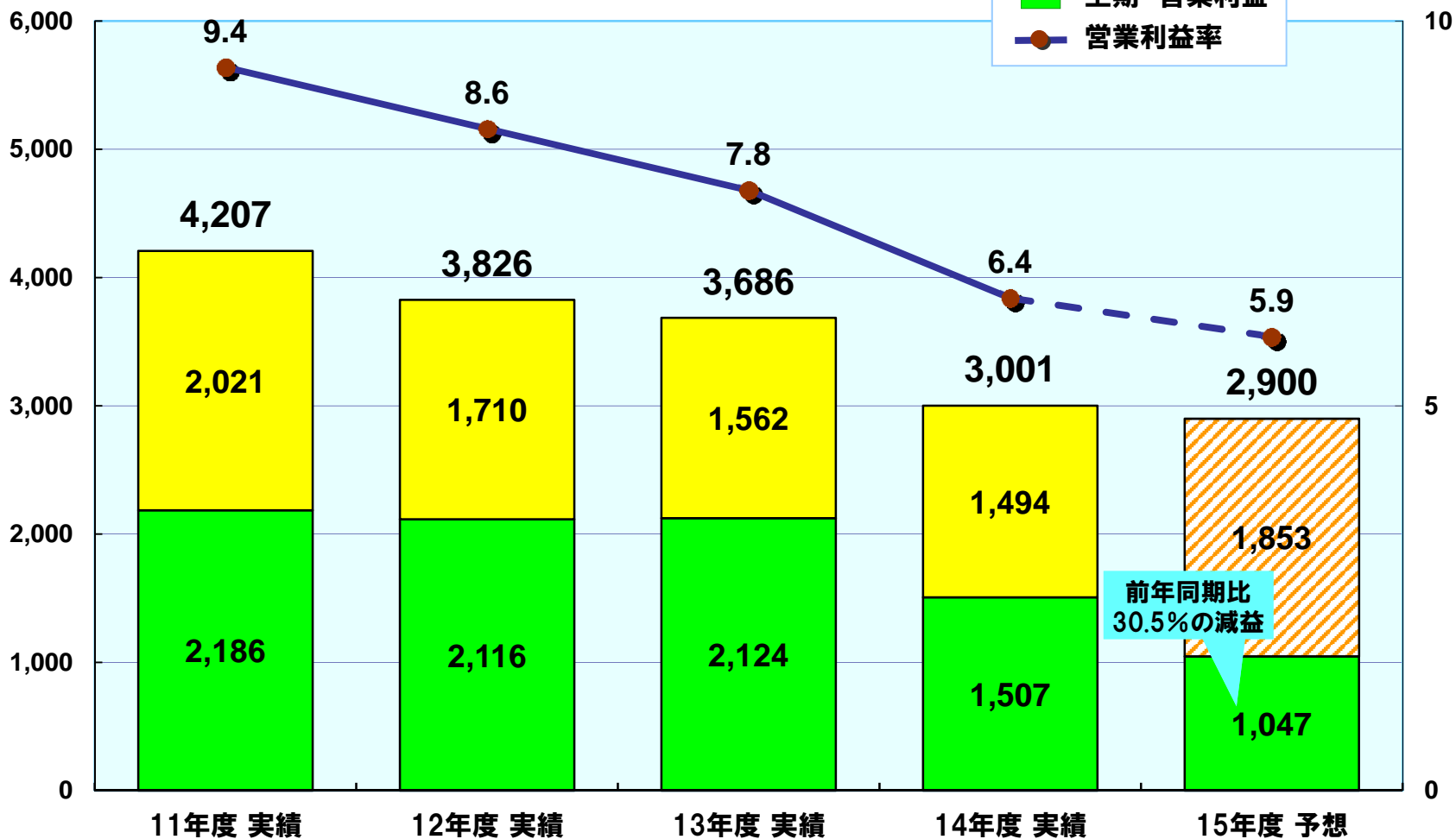


5

営業利益・営業利益率

(単位:百万円)

(単位:%)



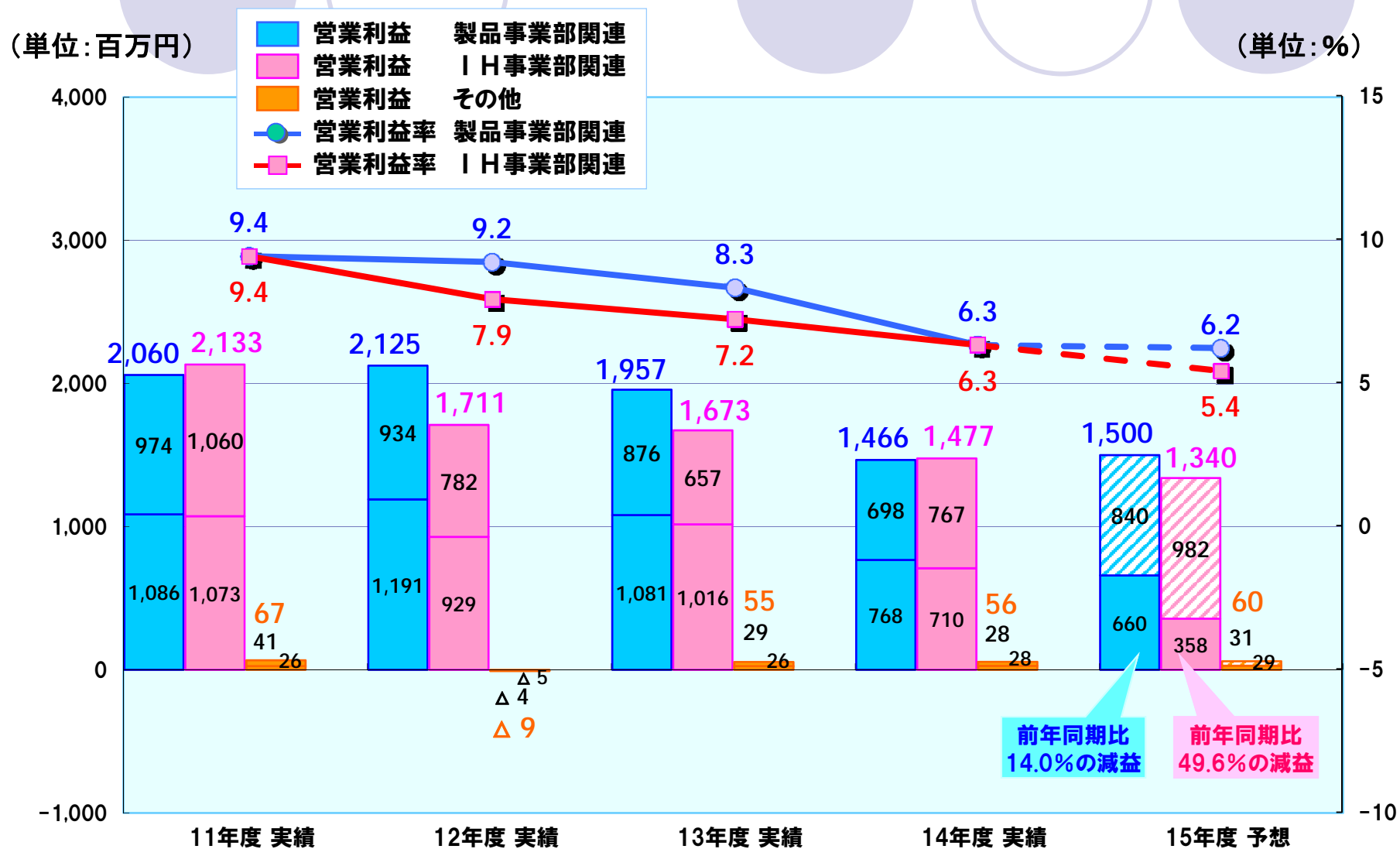
第11次中期経営計画

第12次中期経営計画

第13次中期経営計画

6

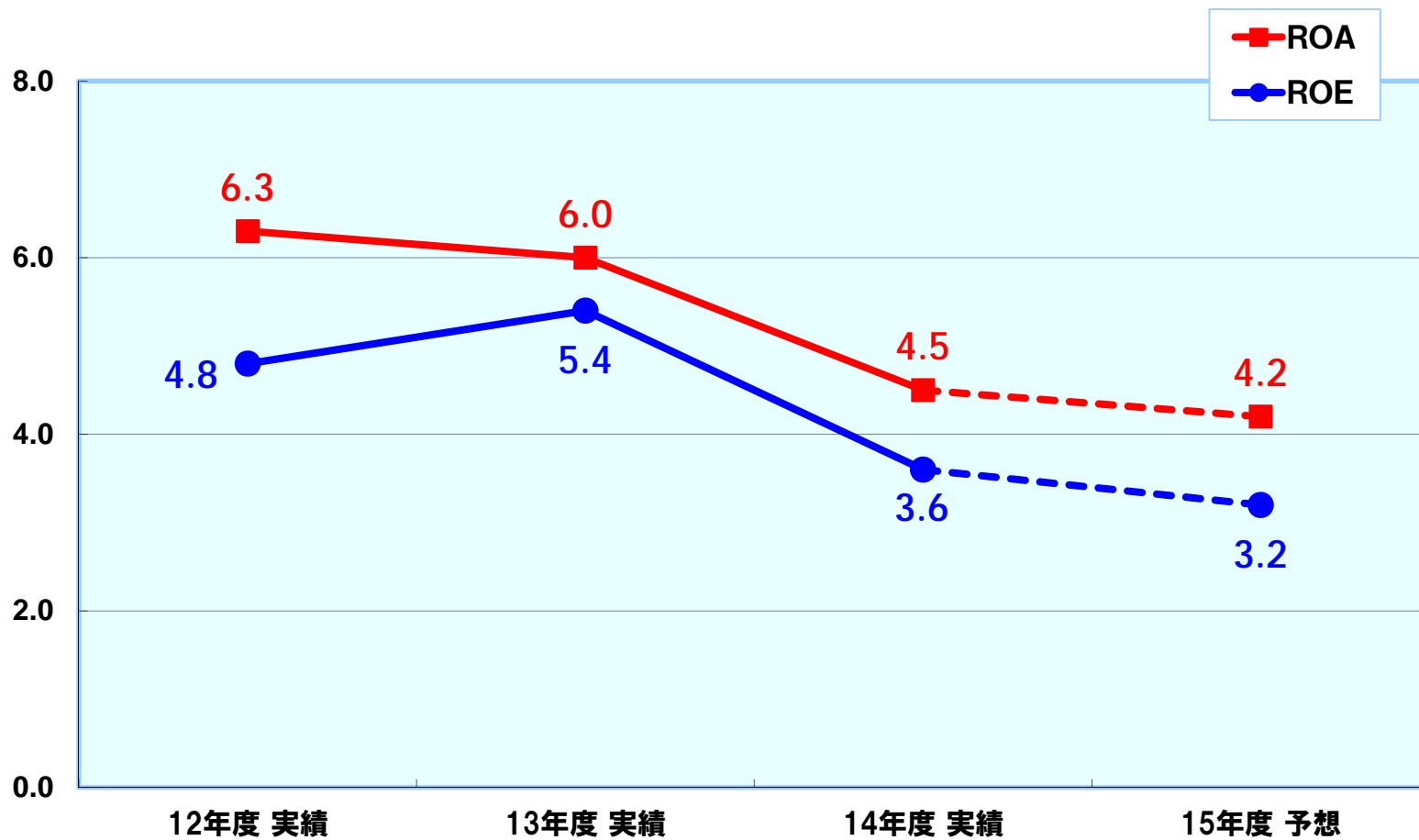
セグメント情報(営業利益・営業利益率)



7

ROA・ROE

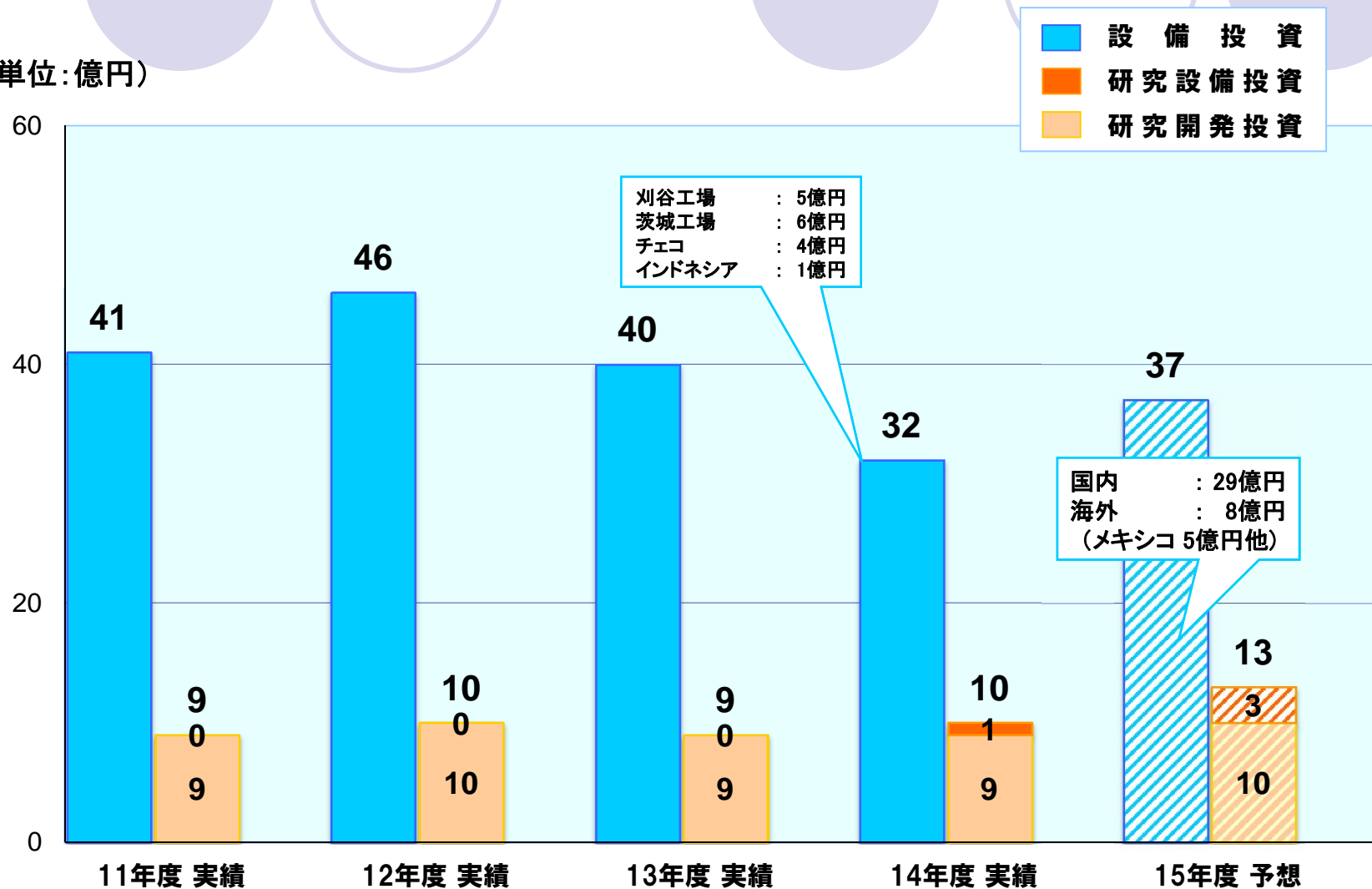
(単位: %)



8

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



基本方針

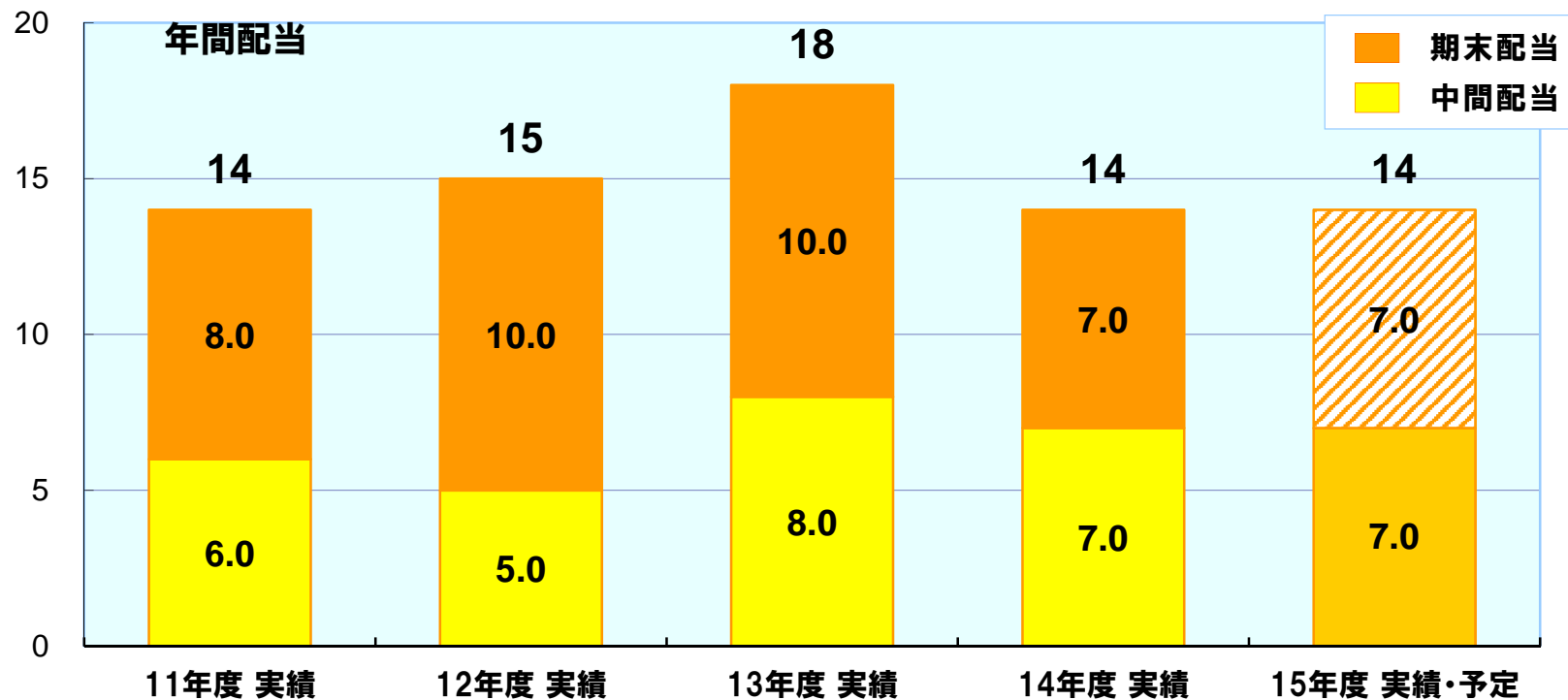
基本的には、安定した配当を継続していくという方針に加え、業績に応じた利益配分を行うこととし、当社グループを取り巻く経営環境および財務の状況等を勘案のうえ、決定していくことを基本方針としています。

なお、原則として、「安定した配当」については、当面、年10円を下限とし、また、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向30%以上を目処としています。

[適用時期] 平成28年3月期配当(中間配当、期末配当)から適用いたします。

(2015年5月11日公表)

(単位:円)



I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2016年(平成28年)3月期第2四半期 連結決算の概要

10

第13次中期経営計画

スローガン 「*Global Innovation 70th*」

(グローバル イノベーション セブンティース)

設立70周年(2016年5月)に向けて、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」に関する果敢な革新の推進

[3つの柱]

第1の柱: 安全管理体制と品質保証体制の更なる拡充とグローバル展開

第2の柱: NETUREN VISION 2020ロードマップの確実な遂行

第3の柱: グローバルに活動できる人財の確保と育成

[連結目標]

	2015年3月期 実績	2018年3月期 目標
売上高	468億円	600億円
営業利益	30億円	52億円
営業利益率	6.4%	8.8%
ROA(総資産経常利益率)	4.5%	6.7%
ROE(株主資本純利益率)	3.6%	5.3%

I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2016年(平成28年)3月期第2四半期 連結決算の概要

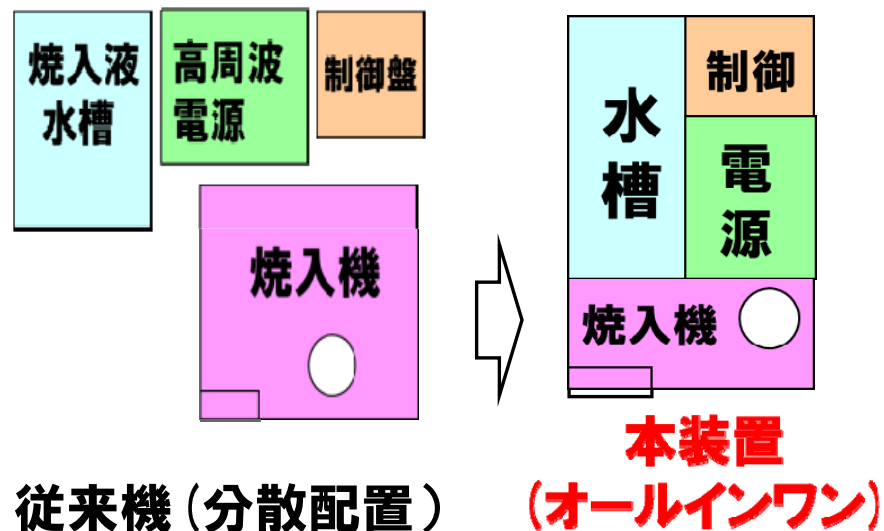
11 新技術の開発(1)

“コンパクト焼入装置”



オールインワン高周波焼入機

省スペース: 従来比 **60%減**
省エネルギー: ダイレクト接続で、
送電ロスを最低限に



12 新技術の開発(2)

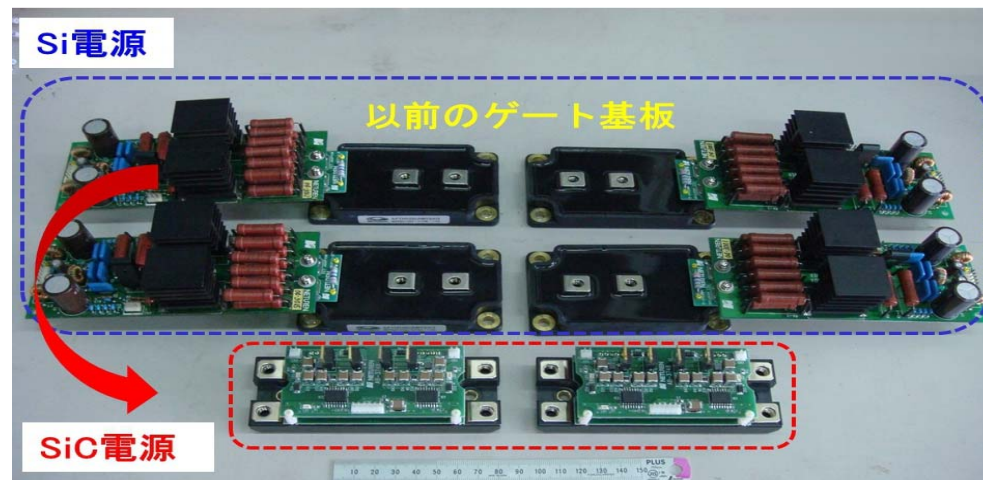
“次世代型高周波誘導加熱電源”



従来機とSiC半導体使用機の比較(160kW－200kHz)

		従来機 Si 半導体	開発機 SiC 半導体
寸法 (mm)	高さ	1,950	1,500
	奥行	800	V:58% 600
	幅	1,000	1,000
重量	(kg)	900	m:47% 420

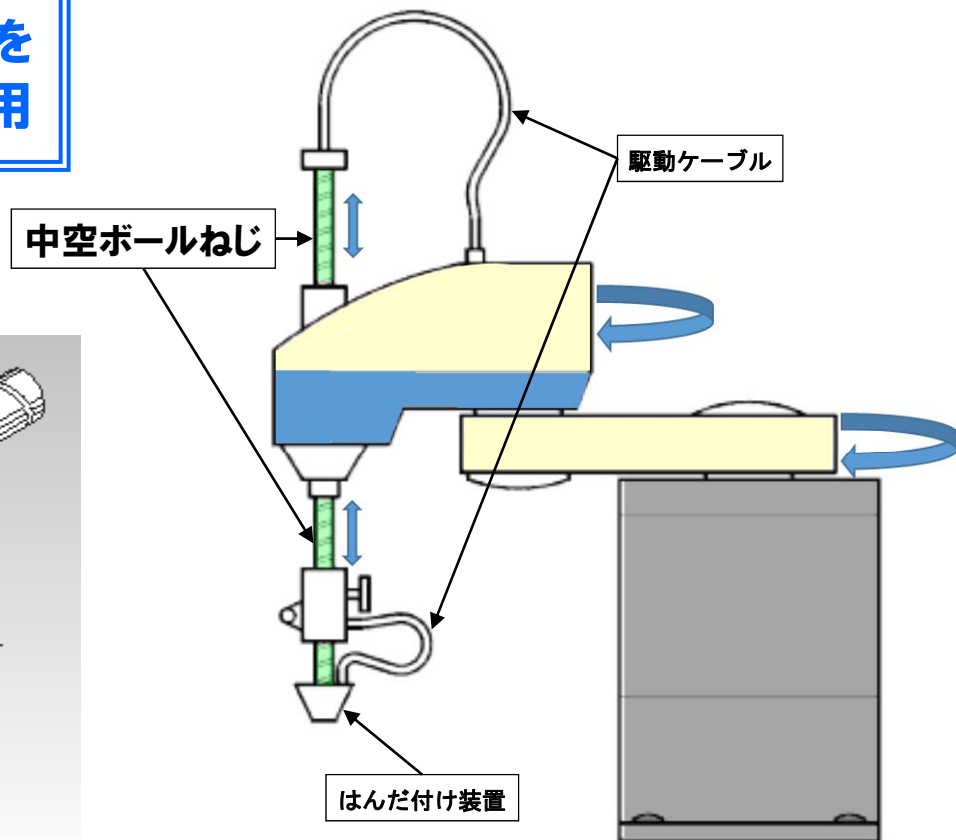
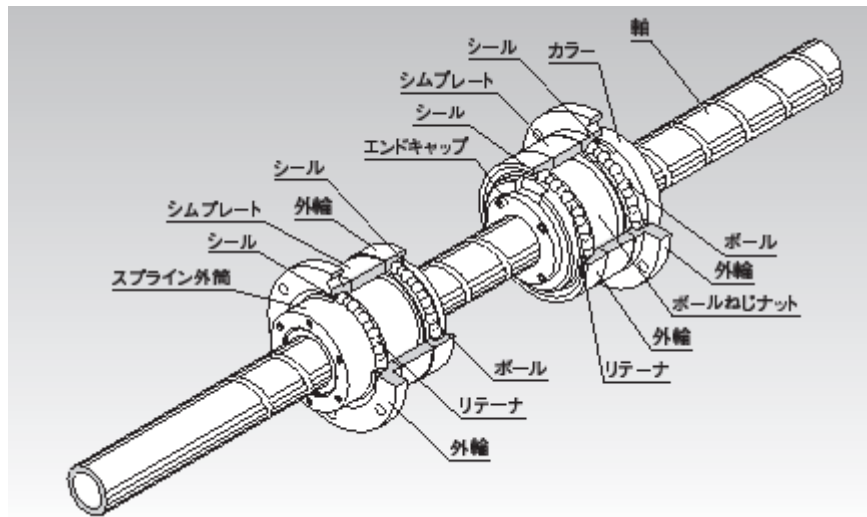
SiC-MOSFETを使用した高周波誘導電源を新たに開発
 →自社工場にて実用化
 SiC電源で高効率化、高温耐久性向上



13 新商品の開発(2)

“スカラロボット(水平多関節ロボット)向け中空ボールねじ”

ロボットアームの先端に装着される
はんだ付け装置の駆動ケーブルを
内装・保護するために中空部を使用



14 新規事業の推進

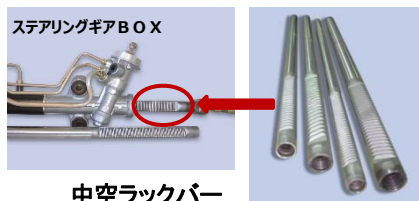
1. フロントフォークインナーチューブの加工・熱処理一貫加工の事業化の推進



フロントフォークインナーチューブ

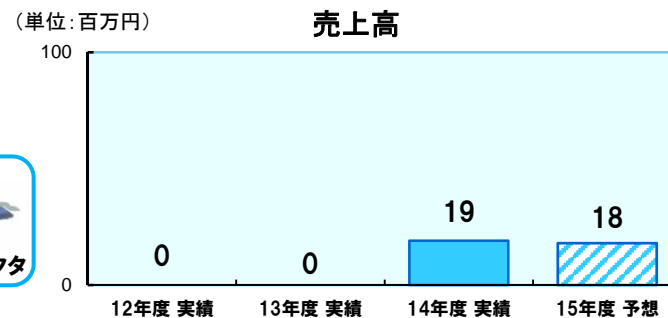
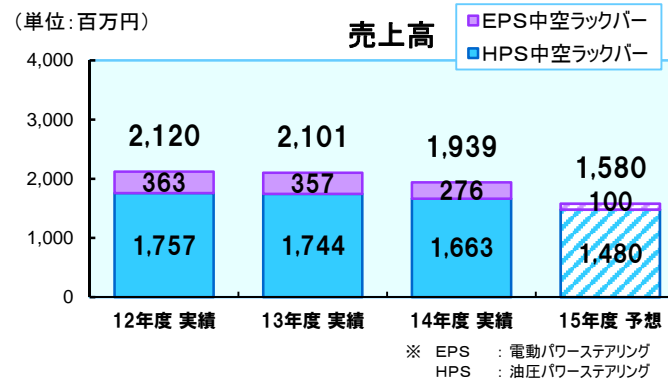
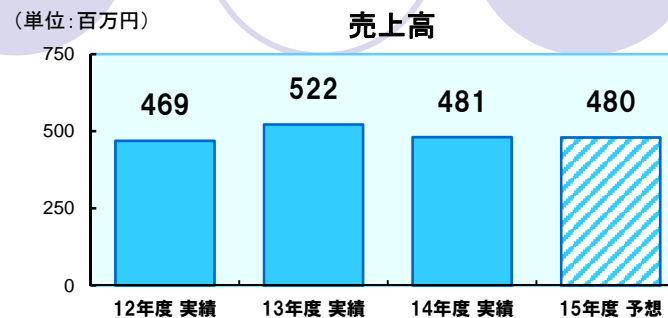
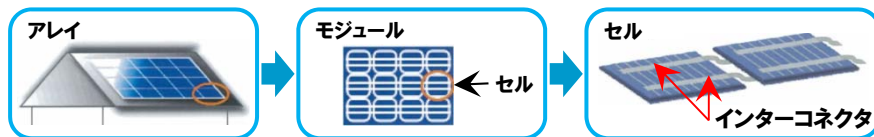
2. 電動パワーステアリング(EPS)用中空ラックバーの事業化の推進

新工法による新型EPS用中空ラックバーの試作納入・拡販を推進中



中空ラックバー

3. 太陽電池用インターコネクタの事業化の推進



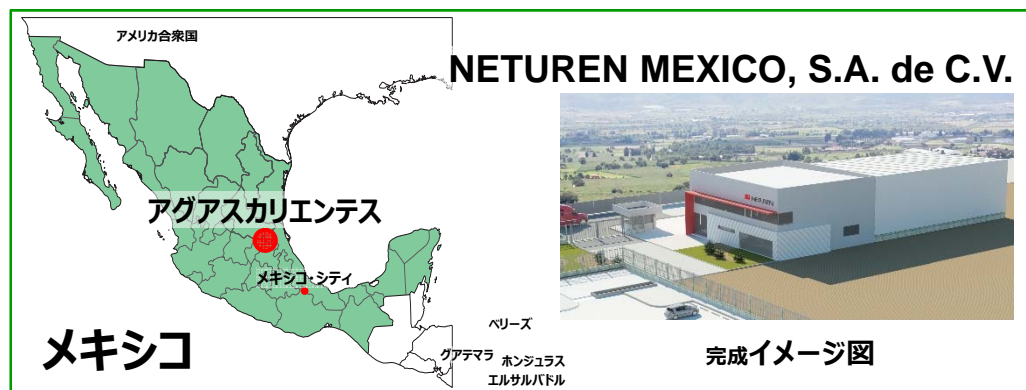
15 グローバル事業の展開(1)

“ネットレンの固有技術を生かし北中米市場へ積極参入”

熱処理受託加工、IH(誘導加熱)設備販売・サービスおよび将来における部品一貫機械加工の強化を推進

NETUREN MEXICO, S. A. de C. V. (ネットレン・メキシコ可変資本株式会社)

- 所在地 メキシコ合衆国 アグアスカリエンテス州 PILA工業団地内
- 操業開始 現在、工場建設中、2016年3月予定

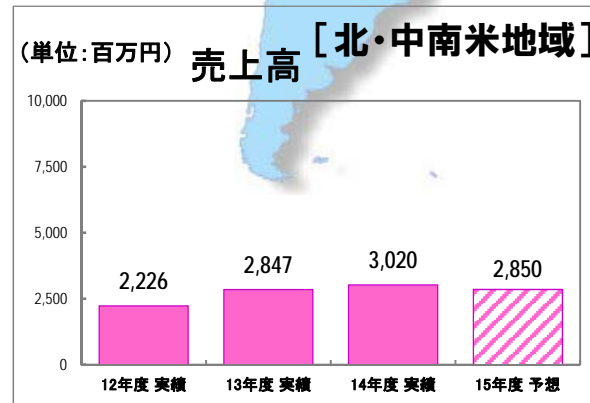
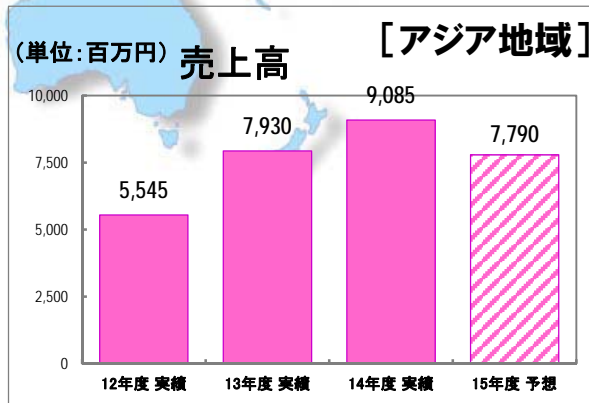
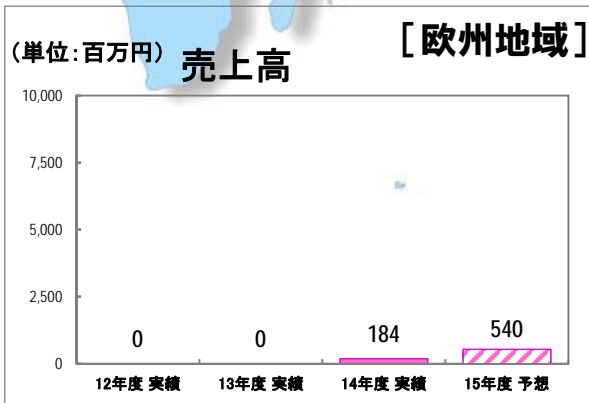


起工式:2015年6月

16 グローバル事業の展開(2)

“海外事業展開の現状”

5カ国 8社 (連結)

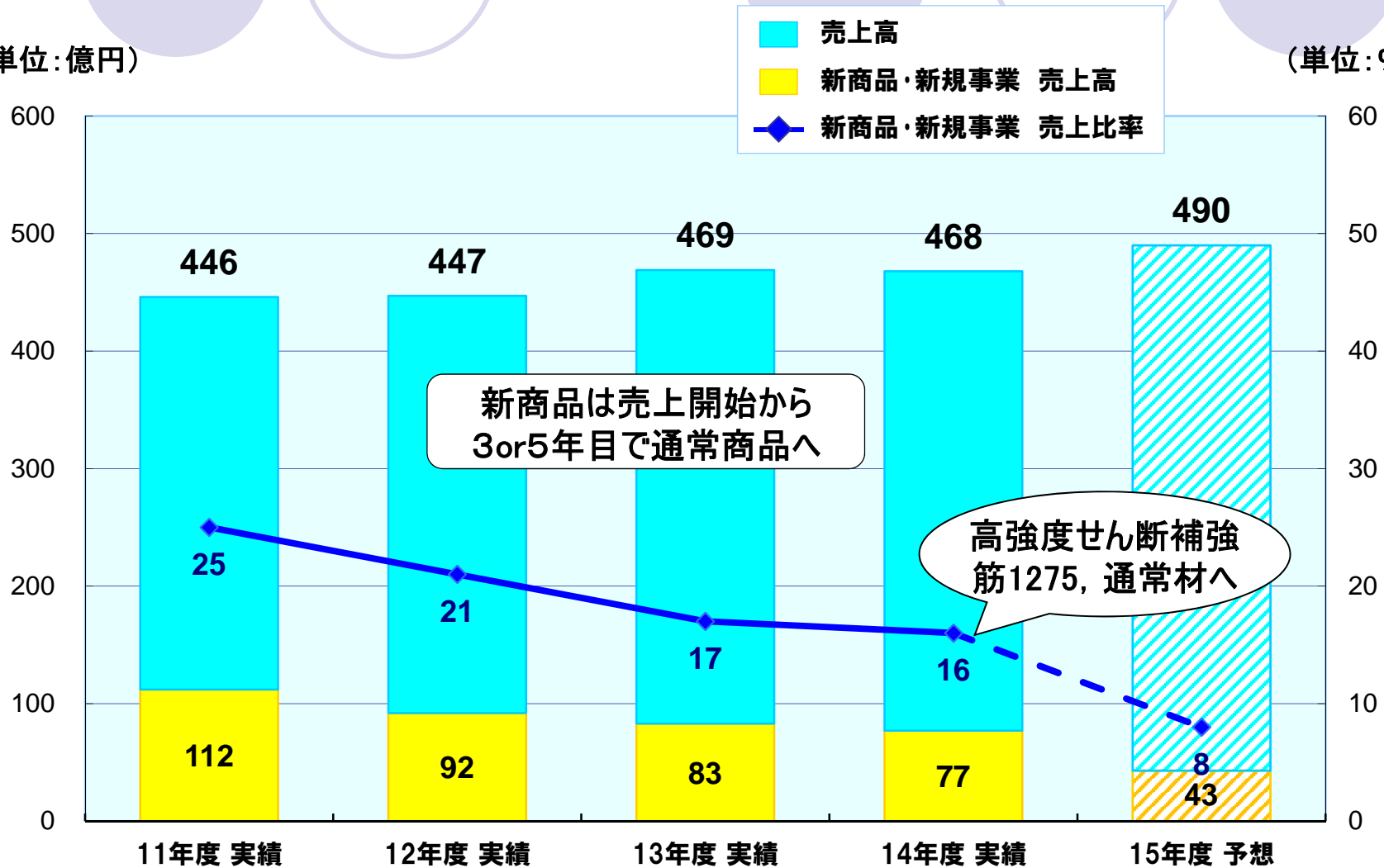


17

新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、 Netzレン新商品・新規事業売上基準による。

I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2016年(平成28年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1. 全般

建設業界および建設機械業界からの受注が本格的な回復に至っていないことが、当社グループの業績に影響を与えました。

売上高	21,963百万円	(前年同期比	2.5%の減収)
営業利益	1,047百万円	(前年同期比	30.5%の減益)
経常利益	1,377百万円	(前年同期比	13.8%の減益)
親会社株主に帰属する四半期純利益	852百万円	(前年同期比	15.7%の減益)

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 建設関連製品

主として建設コストの高騰によって着工件数が伸び悩んだことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

② 高強度ばね鋼線(ITW)

米国では減少したものの、中国、欧州および国内での販売量が伸びたことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

③損益

売上高	11,354百万円 (前年同期比 0.7%の増収)
営業利益	660百万円 (前年同期比 14.0%の減益)

(2) IH事業部関連事業**①熱処理受託加工関連および誘導加熱装置関連**

主として自動車業界向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

②建設機械部品関連

建設機械業界からの受注の回復が遅れていること、中国での受注が低迷したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

③自動車部品関連

主として国内の販売量が伸び悩んだことにより、前年同期と比較し減少いたしました。

④損益

売上高	10,545百万円 (前年同期比 5.7%の減収)
営業利益	358百万円 (前年同期比 49.6%の減益)

(3) その他

①不動産賃貸事業等

小規模ではありますが、安定的に業績に寄与しております。

②損益

売上高	63百万円	(前年同期比	2.6%の減収)
営業利益	29百万円	(前年同期比	1.6%の増益)

3. 財務状況

フリーキャッシュ・フローの黒字、実質的な無借金経営、高い自己資本比率など、健全かつ強固な財務体質を維持しています。

(単位:百万円)

	2014年 9月期	2015年 9月期	増 減	増減率 (%)	2015年 3月期
売 上 高	22,530	21,963	△ 566	△ 2.5	46,895
営 業 利 益	1,507	1,047	△ 459	△ 30.5	3,001
経 常 利 益	1,598	1,377	△ 221	△ 13.8	3,620
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,011	852	△ 158	△ 15.7	2,105

2016年3月期第2四半期 連結決算(単独期間)の要点(5)

(単位:百万円)

	2015年 3月期	2016年 3月期		前年同期比		直前四半期比	
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	5,618	5,736	5,618	△ 0	△ 0.0	△ 118	△ 2.1
IH事業部関連事業	6,010	4,487	6,058	47	0.8	1,571	35.0
その他	33	30	32	△ 1	△ 3.5	1	4.6
売上高	11,662	10,254	11,709	46	0.4	1,454	14.2
製品事業部関連事業	380	389	271	△ 108	△ 28.6	△ 117	△ 30.3
IH事業部関連事業	414	11	346	△ 68	△ 16.4	335	2,935.8
その他	14	13	15	0	5.6	1	9.3
営業利益	809	414	633	△ 175	△ 21.7	218	52.8
経常利益	816	610	767	△ 49	△ 6.0	156	25.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	533	441	411	△ 122	△ 23.0	△ 30	△ 6.8

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2014年 9月期	2015年 9月期	増 減	増減率(%)	2015年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	11,277	11,354	77	0.7	23,443
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	11,188	10,545	△ 642	△ 5.7	23,324
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	64	63	△ 1	△ 2.6	126
合 計		22,530	21,963	△ 566	△ 2.5	46,895

(単位:百万円)

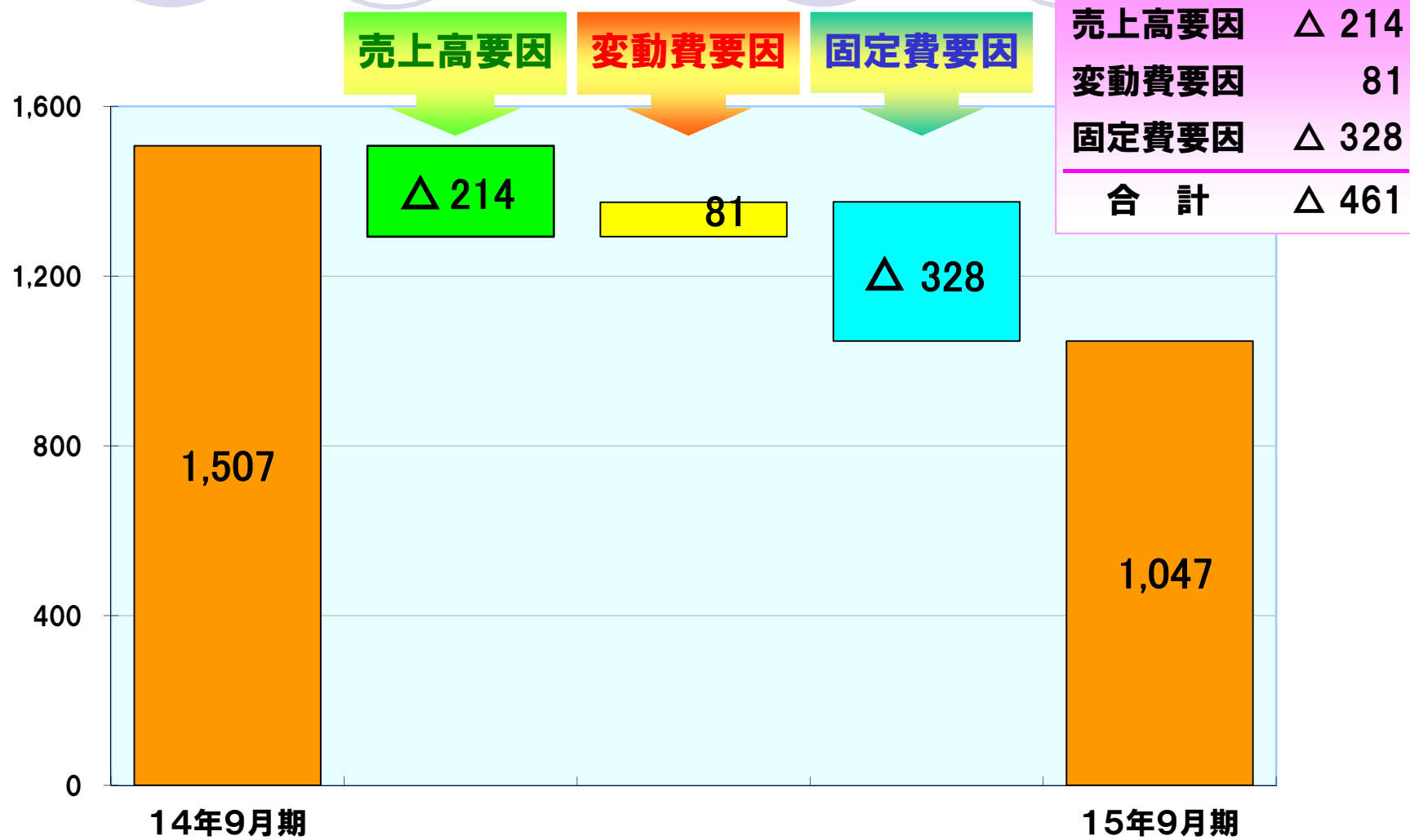
事業区分	主な製品	2014年 9月期	2015年 9月期	増 減	増減率(%)	2015年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	768	660	△ 107	△ 14.0	1,466
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	710	358	△ 352	△ 49.6	1,477
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	28	29	0	1.6	56
合 計		1,507	1,047	△ 459	△ 30.5	3,001

※()は、セグメント間取引消去。

25

連結営業利益増減内容

(単位:百万円)

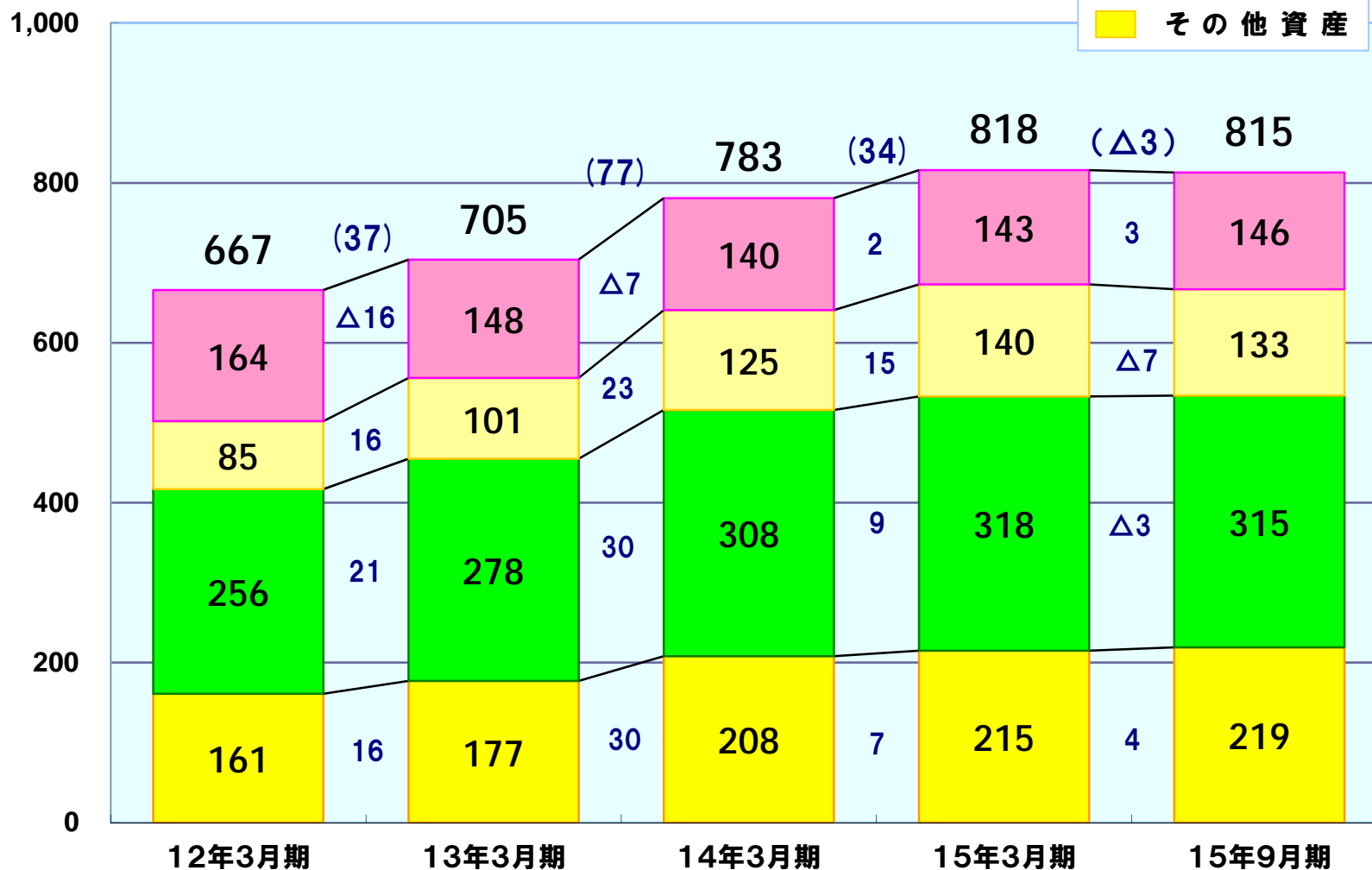
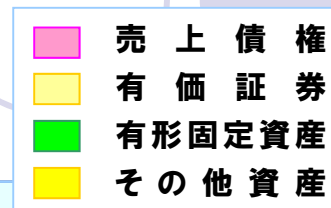


(単位:百万円)

科目	期別	2014年 9月期	2015年 9月期	増減	増減率 (%)	2015年 3月期
売上高		22,530	21,963	△ 566	△ 2.5	46,895
売上原価		17,825	17,586	△ 239	△ 1.3	37,465
売上総利益		4,704	4,377	△ 327	△ 7.0	9,429
販売費及び一般管理費		3,197	3,329	132	4.1	6,428
営業利益		1,507	1,047	△ 459	△ 30.5	3,001
営業外収益		288	383	94	32.9	799
営業外費用		197	53	△ 143	△ 72.8	180
経常利益		1,598	1,377	△ 221	△ 13.8	3,620
特別利益		24	128	104	432.9	60
特別損失		28	40	12	42.1	94
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,593	1,465	△ 128	△ 8.1	3,586
法人税、住民税及び事業税		463	461	△ 1	△ 0.3	886
法人税等調整額		-	-	-	-	179
四半期(当期)純利益		1,130	1,003	△ 127	△ 11.2	2,520
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		1,011	852	△ 158	△ 15.7	2,105
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益		119	151	31	26.6	414

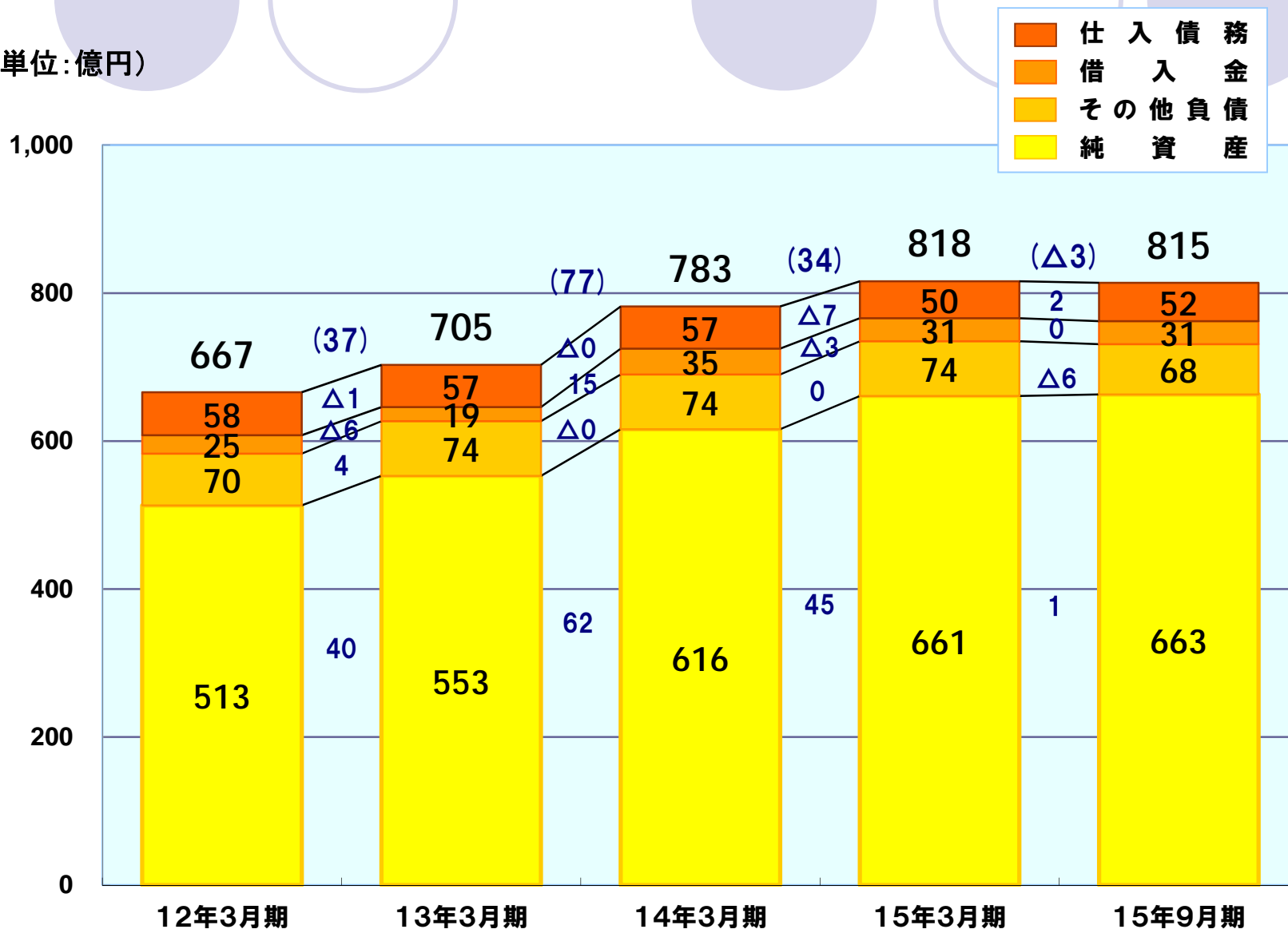
2015年9月期 資産残高の推移(連結)

(単位: 億円)



2015年9月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2016年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

科 目	2014年 9月期	2015年 9月期	対前年同期比 増 減	2015年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,593	1,465	△ 128	3,586
減価償却費	1,325	1,490	164	2,967
売上債権の増減	△ 455	△ 323	132	67
仕入債務の増減	312	224	△ 88	△ 868
その他	△ 351	△ 646	△ 294	△ 1,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,425	2,210	△ 214	4,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,851	△ 1,322	528	△ 3,017
フリーキャッシュ・フロー	573	888	314	1,675
借入金	△ 180	△ 80	99	△ 525
配当金の支払額	△ 426	△ 298	127	△ 724
その他	△ 42	△ 26	15	△ 143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 649	△ 406	243	△ 1,393
キャッシュ・フロー四半期(期末)残高	12,612	13,925	1,312	13,422

1. 全般

景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、建設業界や建設機械業界からの受注が本格的な回復に至るまでには、なお時間を要すると想定している。

第13次中期経営計画「*Global Innovation 70th*」に基づき、海外事業投資を含む積極的な事業展開を実施し、収益力の向上を図っていく。

売上高	49,000百万円	(前年同期比	4.5%の増収)
営業利益	2,900百万円	(前年同期比	3.4%の減益)
経常利益	3,400百万円	(前年同期比	6.1%の減益)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,900百万円	(前年同期比	9.8%の減益)

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 建設関連製品

建設コストの高騰による着工件数の伸び悩みが継続し、また、価格・シェア競争も激化すると予想している。

②高強度ばね鋼線(ITW)

受注量が、中国・米国では減少するものの、国内・欧州では比較的堅調に推移すると予想している。

③損益

売上高	24,200百万円	(前年同期比	3.2%の増収)
営業利益	1,500百万円	(前年同期比	2.3%の増益)

(2) IH事業部関連事業**①熱処理受託加工関連**

自動車・工作機械業界からの受注量が、堅調に推移すると予想している。

②建設機械部品関連

受注回復にはなお時間を要し、また、中国での受注の低迷も継続すると予想している。

③誘導加熱装置関連

大型物件の受注があり、受注量は増加すると予想している。

④自動車部品関連

中空ラックバーは、モデル末期の車種があり、受注量は減少すると予想している。

⑤損益

売上高	24,680百万円	(前年同期比	5.8%の増収)
営業利益	1,340百万円	(前年同期比	9.3%の減益)

(3) その他

売上高	120百万円	(前年同期比	4.8%の減収)
営業利益	60百万円	(前年同期比	7.1%の増益)

1. 海外拠点を含めた安全・品質の確保を最優先とした事業運営
2. アクションプランに基づいた開発案件の迅速な実用化と市場投入
3. 大型プロジェクトにおける情報収集・工法開発・受注活動の強化
4. 既存事業の受注確保と経営改善策の推進
5. 新規事業・海外事業の確実な立ち上げと積極的な業務改善
6. 全社的なコストダウン(特に電力原単位を重視)の強化

(単位:百万円)

事業区分	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)	増 減	増減率 (%)	2015年 9月期
製品事業部 関連事業	23,443	24,200	756	3.2	11,354
IH事業部 関連事業	23,324	24,680	1,355	5.8	10,545
そ の 他	126	120	△ 6	△ 4.8	63
合 計	46,895	49,000	2,104	4.5	21,963

セグメント情報(連結営業利益予想)

(単位:百万円)

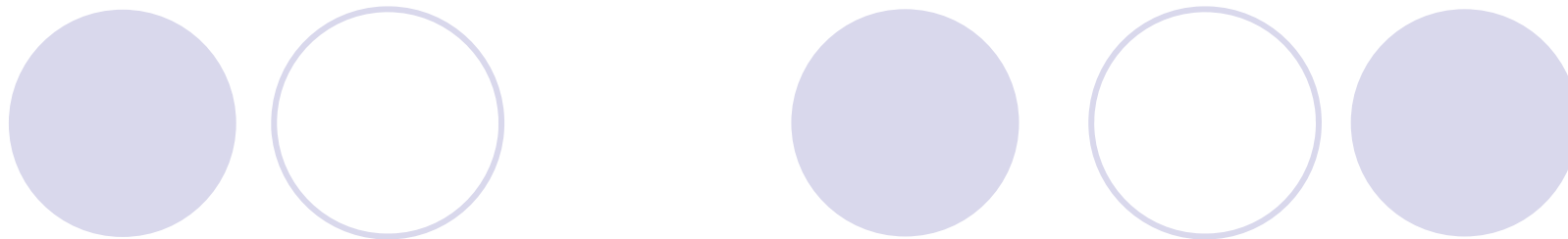
事業区分	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)	増 減	増減率 (%)	2015年 9月期
製品事業部 関連事業	1,466	1,500	33	2.3	660
IH事業部 関連事業	1,477	1,340	△ 137	△ 9.3	358
そ の 他	56	60	3	7.1	29
合 計	3,001	2,900	△ 101	△ 3.4	1,047

36

連結設備投資額

(単位:百万円)

	2014年 3月期	2014年 9月期	2015年 3月期	2015年 9月期	2016年 3月期 (予 想)
設備投資額	4,091	2,143	3,232	1,020	3,700
減価償却費	2,651	1,325	2,967	1,490	2,800



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。